

第一着手ニシテ他ノ受負社ニ於テ既ニ起工ス今時當社ノ工場ハ其ノ

山麓ノ前後海底及ヒ陸地掘採浚渫ニシテ横須賀方面ハ延長二百拾八間

六分ノ巾(山麓陸地ノ分)拾五間末巾(海中最深ノ分)二拾九間深三十尺長浦方面延長百

拾間壹分ノ巾(山麓陸地ノ分)十五間末巾(海中最深ノ分)三十間壹分深三拾尺土砂惣坪貳

万七千百六拾壹坪六合九夕九才内岩石(石質砂石)五千〇八拾二坪壹合

四夕四才ナリ海底ノ土質ハ海岸砂石ノ波濤ノ爲メニ破碎シ之カ沉淀

セシモノナレハ浚渫ニハ最モ良質ナルカ如シ工事ハ滿潮面下拾尺通

リハ助連揚ケ又ハ袋揚ケヲ做シ深處ハプロフトマン氏ノ攪揚器A號

及ヒC號各壹具ヲ用ヒ岩石ノ分ハ暴藥(ダイナマイト)ヲ用ヒ之ヲ破壊シブルース氏

ノ攪揚器ヲ以テ攪揚ケントス尙工事ノ實況器械ノ効用等追日施行ノ

順序ニ基キ詳細ヲ報道スベシ

○遠州社山隧道 遠州社山ノ隧道ハ長サ七百三十一間ニテ明治十

八年竣工シタルモノナルガ天龍川ヨリ入水ノ神田口水門ノ流水口其

不當ナルタメ分水ノ量ニ不足チ生シ恰モ十五万圓ヲ費シタル疏水工
 事モ全ク中止トナリトシテルノ功モナク殆ント廢物トナリ居タリ爲
 之起發人ハ荐リニ其利害等ヲ陳ヘ再ヒ起工スル由

○吳港及佐世保ノ土工

吳港ノ土工モ最初藤田組ニテ請負タル部

分ハ落成シタルモ仕樣替アリ八月十日頃ニ悉皆竣工又タ大倉組ノ部
 分ハ同様ノコニテ本年末ナラデハ其運ヒニ至ラサル由又佐世保ノ土
 工モ悉皆落成ハ本年末ニ至ルベシ又人夫負傷ノ多キハ實ニ非常ナリ
 ト云フ

○鐵道敷設工事彙聞

群馬鐵道會社モ已ニ資本金三十万圓ヲ目的

トシテ其起業ノ準備ニ着手シ七月ニ至リ漸ク線路ノ實測モ終リタリ
 此擔當測量者ハ會員小田川君ニテ其位置ハ高崎線ノ飯塚ステーションヨリ分線シテ越後街道ノ東通り澁川ニ達スルモノニテ其延長十英里六十鎖ナリ